

ここに注目！



オリジナリティあふれる魅力あるまちづくりと 安心・安全事業の実施により集客力アップ

ポイント

米軍基地返還に伴う跡地利用としてビーチサイドを活かし異国文化を取り入れた街並みを創出。ファッション、音楽、映像コンテンツの発信等他にはない個性的なまちづくりや、Web サイトのホームページ、マップの多言語化による外国人観光客の増加など活性化に成功している。また、近隣住民の生活を支える場として「安心」「安全」なまちづくりのために、防犯カメラの増設を実施するとともに、来街者参加型のイベントを多数行った。

[現状分析及び課題抽出]

Plan

急増する国内外の観光客

北谷町美浜地区は、地域住民、国内及び海外からの観光客、在沖米軍関係者などの来街者が昼夜を問わず増加傾向にあり、県内でも急速に発展している地域であることから、とりわけ、夜間の安全に対する環境整備の充実が急務であった。また、来年度には、近隣に大型ショッピングモールが立地することから、商業競争は一層厳しい状況になってくる事が予想されるため、通り会では、来街者へのおもてなし向上、通りの魅力の更なる PR のための方策としてこれまで以上の情報発信が必要とされた。

[対応策の優位性]

Do

通りの魅力 UP でおもてなし向上

通り会では、地域住民や来街者のみならず働く側も安心しておもてなしに専念できるよう夜間警備等の取組を行っている他、今年度は商店街まちづくり事業の採択を受け、より広範囲を対象とした防犯カメラの増設を実施している。

また、来街者への情報発信・利便性向上、外国人観光客の集客増加策として、通りの案内板、ホームページ、マップ、パンフレット類の多言語化（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）に取り組み、通りの魅力を向上させるとともに、冬場のイルミネーション企画

基本データ

デポアイランド通り会

所在地：沖縄県中頭郡北谷町

人口：約 3 万人（北谷町）

会員数：5 社

店舗数：83 店舗（買回品小売店 51、最寄品小売店 2、飲食店 23、サービス店 5、その他 2）

商店街の類型：広域型商店街

主な客層：観光客、学生・若者、会社員

関連 URL：<http://www.depot-island.co.jp/index.jsp>

<http://www.depot-abc.com/>

商店街概要

沖縄本島の中央部、北谷町美浜地区のアメリカンビレッジ内に位置し 5 施設 87 店舗とホテルからなり、地域住民や観光客、在沖米軍関係者の方等で賑わう活気溢れる商店街。近隣には娯楽施設、スーパー、小中学校、野球場、役場や保育所など生活を支える基盤施設や余暇施設も多数あり、魅力ある商業集積地となっている。近年、周辺の開発が進み人口及び世帯数は増え続けている。



ファッション、グルメ等のショップが集まる
デポアイランド（Depot Island）

等、年間を通して訪れることができ、さらに、参加して楽しむことができる来街者参加型イベントを多数行った。

[効果の評価及び改善策]

Check-Action

功を奏した集客への取組

防犯対策の取組は、夜間においても安心して訪れる

ことのできる通りとして広く認知され今後一層の集客が期待できる。

また、県内では他に先駆けホームページを多言語対応としたことによる効果は絶大で、ホームページへのアクセスを分析すると、海外からのアクセス数の増加に連動して通りへの外国人観光客の来街者数も増加、通り全体の活性化に貢献している。

通り会実施のイベントは、地域を代表するイベントとしての認知度も高く、オリジナリティあふれる独自の雰囲気を求め例年多数の参加者で賑わっている。今後も、来街者参加型のイベント企画等の取組を充実させ、地元客及び観光客の集客、通りの活性化が期待できる。

【実施体制等】

若手経営者の連携でにぎわいのある街へ

アメリカンビレッジ内の他のテナント会と連携し、若手経営者を中心とした活動も活発である。近隣のビーチ清掃による環境整備の他、各テナント会では地域商店街活性化事業の助成を受けクリスマスにおける

イルミネーション等様々な事業を実施。物販ブースによるクリスマス・マーケット、バレンタインなどでの季節に合わせた装飾、トリックアートの設置、ミュージックライブによる活性化イベント、フォトコンテストやコスチューム・コンテストなど来街者参加型の集客イベントを積極的に行っている。



防犯カメラ設置や夜間警備等により
安全確保、犯罪防止効果を上げている



キーパーソン

デポアイランド通り会
事務局 奥原 悟

継続することが力になる

スタートから有志が集い手作りで初めたイベントです。当初は小さかったけれど心を込めてやり続け、少しでも去年よりは良くしようと試行錯誤した結果、イルミネーションに至ってはイベントが浸透する事により冬場の来街者が増加しています。撮影スポットで写真撮影するために、カメラを持参している方々を数多く見かけるようになり、イルミネーション（イベント）が来街の目的になっていることを肌で感じています。

今では、地域の代表的なイベントにもなっている「ハロウィン」も継続することで認知され、地域の特性を活かし来街者に参加してもらうことで価値を高め、思い出づくりの一つになっていることに嬉しく思っています。

感動を共創し思い出の地へと

沖縄県内には、国内のみならず海外からの観光客も増加しています。その方々に対してどのようにアプローチすべきかを検討した結果、6年前にホームページやエリアマップを多言語化、4ヶ国語対応にしました。これは沖縄県内では、いち早く取り入れた事例です。それが功を奏し、今では多くの国内外の観光客に訪れてもらえるようになっています。

更なる取組として、折角訪れてきた方々の思い出作りに貢献するため、一つの商品を売ることで、先ずはこの地域を知ってもらうこと、魅力を伝え楽しんでもらうことに力を注いでいきます。

そのために、来場者参加型イベントの実施も続けており、観て楽しむだけでなく一緒に楽しむ、参加することで思い出の地になることを目指しています。

思い出の地となったこのまちに親しみをもち、再度、訪れたくなる空間づくりを目標にしています。